



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 アトム

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,637	△4.6	1,441	△6.9	1,675	10.2	983	98.5
23年3月期第3四半期	30,005	△5.1	1,548	△6.8	1,519	△5.7	495	△14.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,100百万円 (84.3%) 23年3月期第3四半期 597百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.48	4.90
23年3月期第3四半期	2.57	2.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	28,445	10,790	37.9	34.09
23年3月期	26,631	9,773	36.7	27.91

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 10,790百万円 23年3月期 9,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,495	△3.8	1,607	△18.0	1,760	△9.3	893	—	4.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	168,469,955 株	23年3月期	168,469,955 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	467,468 株	23年3月期	467,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	168,002,583 株	23年3月期3Q	168,003,016 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については2ページ「(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更)

添付の四半期連結財務諸表に表示される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替えて表示しております。

(配当の状況)

期末配当予想につきましては、業績動向が不透明なため、現時点では未定とさせていただきます、確定次第速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進み、景気停滞からは穏やかな回復の兆しが見られたものの、欧州の財政・金融危機を背景とした円高・株安により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、東北地方で復興需要はあるものの、雇用情勢不安、個人所得の低迷から、外食の節約意識は高く、取り巻く環境は依然厳しい状況となっております。

このような厳しい状況下の中、当社グループは震災により被害を受けた店舗の復旧を行うとともに、新店を11店舗（「寧々家」5店舗、「時遊館」4店舗、「いろはにほへと」2店舗）オープンし、業態変更を8店舗（「Will Be」から「ステーキ宮」へ2店舗、「味のがんこ炎」から「ステーキ宮」へ1店舗、「濱ふうふう」から「ステーキ宮」へ1店舗、「えちぜん」から「ステーキ宮」へ1店舗、「北海道」から「寧々家」へ1店舗、「暖」から「寧々家」へ1店舗、「M's ダイニング」から「味のがんこ炎」へ1店舗）、改装を8店舗（「ステーキ宮」3店舗、「時遊館」2店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗、「カルビ大将」1店舗、「海鮮アトムボーイ」1店舗）行い、不採算店他16店舗（「濱ふうふう」3店舗、「かつ時」2店舗、「がんこ亭」1店舗、「味のがんこ炎」1店舗、「えちぜん」2店舗、「廻転アトムボーイ」2店舗、「時遊館」1店舗、「寧々家」1店舗、「旨いもん屋」1店舗、「最良屋」1店舗、F C店「蟹や徳兵衛」1店舗）の閉鎖を行い、収益改善を進めました。当第3四半期連結会計期間末の店舗数は385店舗（直営店363店舗、F C店22店舗）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は286億37百万円（前期比4.6%減）、営業利益は14億41百万円（同6.9%減）、経常利益は16億75百万円（同10.2%増）となり四半期純利益は9億83百万円（同98.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億14百万円増加し、284億45百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億98百万円増加し、176億55百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10億16百万円増加し、107億90百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は34億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億31百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は27億74百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益（9億97百万円）、減価償却費の計上（11億68百万円）及び固定資産除却損の計上（2億12百万円）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は9億59百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出（12億11百万円）、敷金及び保証金の差入による支出（1億86百万円）及び敷金及び保証金の回収による収入（4億18百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6億83百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出（22億16百万円）及び長期借入れによる収入（11億20百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、一般債権の貸倒見積高につきましては、前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279	3,410
売掛金	316	453
たな卸資産	223	417
その他	920	1,102
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,738	5,384
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,111	9,278
土地	3,991	3,886
その他（純額）	1,336	1,821
有形固定資産合計	14,438	14,986
無形固定資産		
	200	185
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,266	5,120
その他	3,293	2,970
貸倒引当金	△306	△202
投資その他の資産合計	8,253	7,888
固定資産合計	22,892	23,060
資産合計	26,631	28,445
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,877	2,490
短期借入金	—	778
1年内返済予定の長期借入金	2,902	3,049
未払法人税等	170	123
引当金	563	294
その他	2,270	2,808
流動負債合計	7,784	9,544
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,200	2,200
長期借入金	4,255	3,012
引当金	16	11
資産除去債務	637	634
その他	1,962	2,252
固定負債合計	9,072	8,110
負債合計	16,857	17,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,973
資本剰余金	6,016	6,016
利益剰余金	1,211	2,111
自己株式	△187	△187
株主資本合計	10,014	10,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△227	△118
繰延ヘッジ損益	△12	△4
その他の包括利益累計額合計	△240	△123
純資産合計	9,773	10,790
負債純資産合計	26,631	28,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	30,005	28,637
売上原価	9,857	9,147
売上総利益	20,147	19,489
販売費及び一般管理費	18,599	18,048
営業利益	1,548	1,441
営業外収益		
不動産賃貸収入	381	366
貸倒引当金戻入額	—	98
その他	86	216
営業外収益合計	468	681
営業外費用		
支払利息	213	180
不動産賃貸原価	274	252
その他	9	14
営業外費用合計	496	446
経常利益	1,519	1,675
特別利益		
固定資産売却益	2	15
貸倒引当金戻入額	22	—
受取保険金	—	11
その他	5	—
特別利益合計	30	26
特別損失		
固定資産除却損	90	212
減損損失	82	117
投資有価証券評価損	77	200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	482	—
店舗閉鎖家賃	56	141
その他	79	32
特別損失合計	869	705
税金等調整前四半期純利益	681	997
法人税、住民税及び事業税	121	111
法人税等調整額	64	△97
法人税等合計	185	13
少数株主損益調整前四半期純利益	495	983
四半期純利益	495	983

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	495	983
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	63	109
繰延ヘッジ損益	37	7
その他の包括利益合計	101	117
四半期包括利益	597	1,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	597	1,100
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	681	997
減価償却費	1,240	1,168
販売促進引当金の増減額(△は減少)	121	88
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△209
支払利息	213	180
固定資産除却損	90	212
減損損失	82	117
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	482	—
投資有価証券評価損益(△は益)	77	200
売上債権の増減額(△は増加)	△23	△137
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134	△194
仕入債務の増減額(△は減少)	471	612
その他	△121	51
小計	3,182	3,088
利息及び配当金の受取額	15	13
利息の支払額	△232	△190
法人税等の支払額	△148	△136
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,816	2,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△711	△1,211
敷金及び保証金の差入による支出	△131	△186
敷金及び保証金の回収による収入	431	418
その他	△71	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482	△959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	585	978
短期借入金の返済による支出	△562	△200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△196	△280
長期借入れによる収入	1,893	1,120
長期借入金の返済による支出	△2,572	△2,216
社債の償還による支出	△671	—
転換社債の償還による支出	△500	—
配当金の支払額	△84	△84
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,108	△683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	226	1,131
現金及び現金同等物の期首残高	2,798	2,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,025	3,410

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。